

教育・学校心理学

(2 単位)

専門 > 教育学部 > 基礎理解に関する科目等

1 年、2 年、3 年、4 年 前期
週間授業岸 俊行 (t-kishi@u-fukui.ac.jp、0776-27-9943(2581)、教育系 3
号館 4 階)

■ナンバリングコード

05-TFE-110 教育学部 学校教育課程 / 教育の基礎的理解 [1 年次レベル]

■授業概要

本授業は教職科目の中心であり、教員免許取得のための基礎的な知識を身に着けるためのものである。学習者の心理的な発達と学習の過程、教育環境と学習者の関係性、学習者の個性を理解し、それらを教育現場でどのように活用できるかを考察する。授業では、学習者の認知、情緒、社会的な発達に焦点を当て、これらが学習結果や学校生活にどのように影響を及ぼすかを理解することを目指し、また、教育心理学の理論と研究が、教育者が直面する具体的な問題解決にどう役立っていることを目的とする。

■到達目標

- ・子どもの成長・発達を基軸とし、それらの知識を踏まえたうえで子どもたちの学習や子どもたちを取り巻く教育環境に関して深い考察ができる
- ・子どもの特徴を踏まえたうえで、学校現場における諸課題を認識し、それに対しての対応策に関して深く考えることができる
- ・教育現場に内在する今日的な教育課題に対して、何が問題なのかを理解することができる

■授業内容

- 第 1 回：イントロダクション：教育と発達・学習、教育心理学的考え方
- 第 2 回：教育現場における発達の課題と教育的課題
- 第 3 回：学習者の認知発達：ピアジェの理論
- 第 4 回：学習者の情緒発達：エリクソンの理論
- 第 5 回：学習者の社会性発達：ヴィゴツキーの理論
- 第 6 回：学習理論：行動主義的学習理論
- 第 7 回：学習理論：認知主義的学習理論
- 第 8 回：モチベーションと学習：自己決定理論（様々な動機づけ理論）
- 第 9 回：教育環境と学習者の関係性
- 第 10 回：学習者の個性：学習スタイルと多様性
- 第 11 回：教育者の役割：教師の効果と教師の信念
- 第 12 回：評価とフィードバック：形成的評価と総括的評価
- 第 13 回：教育現場に顕在する今日的課題（いじめと不登校）
- 第 14 回：教育現場に顕在する今日的課題（子ども支援の実践）
- 第 15 回：総括：教育心理学の理論と実践の統合
- 第 16 回：定期試験

■準備学習（予習・復習）等

本講義に対して、まい授業毎に課す、授業外学習は下記を目安とすること

予習：次週の配布資料を事前にネット上にアップしておくので、必ず熟読・視聴し、自らの考えをまとめておく（60 分）

復習：授業内で配布した資料に関して、しっかりと読み解いておくこと。また、講義内容、ノートを再確認する（60 分）

授業後課題の作成、授業内容に関する小テストへの回答を行う（120 分）

■授業形式

【授業形式】
講義

基本的に講義形式中心で行うが、Classroom やフォームを利用したリアルタイム双方向性のある授業を志向する

■成績評価の方法

評価は以下の観点を総合的に判断して行う

授業への関りの程度（10%）、授業内課題（20%）、授業後の小テスト（20%）、最終課題（50%）

全体として、60%以上の習熟度を求める

■教科書・参考書等

特になし

■その他注意事項等

特になし。

必要に応じて指示する

■キーワード

人間の発達

発達と環境

発達と学習

動機づけ

教育の理論

■授業形態

対面授業

基本的には対面授業で行うが、適宜、オンラインツールを用いて講義を行う

■SDGs

3.すべての人に健康と福祉を

4.質の高い教育をみんなに

10.人や国の不平等をなくそう

17.パートナーシップで目標を達成しよう